

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

特集 フィールドシンポジウム「徳島県吉野川河口域の自然と開発事業」

Volume 38

Number 1

June 2016



関西自然保護機構

Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

徳島市吉野川河口のシオマネキ

写真・文 和田 恵次

吉野川は全長194kmに及ぶ日本でも有数の大河川であり、その河口域は、大都市徳島市の中にありながら、自然度の高い広大な汽水域生態系を擁している。その汽水域生態系の指標ともいえるのが、干潟の絶滅危惧動物、シオマネキである。夏場、本種の雄は、片方が巨大化したはさみを上下に振り下ろすwavingにより雌に求愛する。

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。